

第26回(平成21年度)助成者一覧表

1・研究助成

部門	研究者	研究テーマ・等
工 学	ウヤヌク ムハメット (名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻 助教)	*有機合成化学 *デザイン型超原子価ヨウ素化合物を触媒に用いる環境低負荷型 選択的酸化反応の開発
	岸 直希 (名古屋工業大学 工学研究科 未来材料創成工学専攻 助教)	*電子材料工学 *次世代フレキシブルデバイス用カーボンナノチューブ薄膜の新規作製法 の研究
	釘宮慎一 (愛知工業大学 工学部 応用化学科 教授)	*生体機能関連化学、超分子化学、バイオミメティック化学 *新規核酸トランスポーターの開発研究
	道木加絵 (愛知工業大学 工学部 機械学科 准教授)	*ロボット工学、情報処理工学、人工知能工学、システム工学 *あいまいさを許容した人間の行動モデル化手法とインタラクティブな 行動支援
医 学	鈴木治彦 (名古屋大学大学院医学系研究科 准教授)	*免疫学 *CD8 ⁺ 制御性T細胞を利用した全身性エリテマトーデス(SLE)に対する 新たな治療方法の開発
	武山正行 (愛知医科大学 眼科学講座 助教)	*眼科学 *眼科レーザー治療に伴う合併症の原因究明
法 学 ・ 経 済	花蘭 誠 (名古屋大学大学院 経済学研究科 准教授)	*ミクロ経済学・産業組織論 *ホールドアップ問題と契約・組織の経済学
	上田 薫 (南山大学 経済学部 教授)	*応用ミクロ経済学 *紛争の経済学への集団コンテスト理論によるアプローチ
	伊藤 潤 (名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻 博士後期課程)	*安全保障論およびアメリカ政治外交史 *「1947年国家安全保障法下におけるアメリカ合衆国の政軍関係 ―新制度論アプローチに基づく理論的考察―」
	緑 大輔 (愛知大学 法学部 准教授)	*法学、刑事訴訟法 *刑事手続きにおける捜査法の規律:対物強制処分、対人強制処分 における捜査機関への法的統制とその基本原理について
芸 術	石垣 享 (愛知県立芸術大学 美術学部 教養教育 准教授)	*生理人類学・メディアデザイン *全身の2次元写真を基に作成した3次元モデルの体密度から体組成を 推定する
計	11名	

2. 海外助成

部門	研究者	研究テーマ・等
工学	<p>窪田光宏 (名古屋大学大学院 工学研究科 エネルギー理工学専攻 助教)</p>	<p>*水酸化カリウム化学処理とマイクロ波照射を併用した炭素質材料の賦活 *Carbon for Energy Storage and Environment Protection 2009 (CESEP09)に出席し、研究発表及び意見交換、情報収集を行なう</p>
	<p>寺門 修 (名古屋大学大学院 工学研究科 マテリアル理工学専攻 助教)</p>	<p>*有機系および無機系廃棄物の組み合わせ高温処理に関する研究 *第19回分析および応用熱分解国際シンポジウムにおいて研究発表を行う</p>
	<p>多田健一 (名古屋大学大学院 工学研究科 マテリアル理工学専攻 博士後期課程)</p>	<p>*高精度燃料棒単位詳細メッシュBWR炉心解析手法の検討 *American Nuclear SocietyのWinter Meetingにおいて、研究成果を発表し、また各国の原子炉物理学の研究状況について調査を行う</p>
	<p>青柳倫太郎 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 機能工学専攻 助教)</p>	<p>*高電界分極による(Li,Na)NbO₃ 非鉛圧電セラミックスの相転移温度シフトの研究 *アメリカ合衆国オレゴン州で開催される第14回日米誘電体圧電体セミナーにおいて、研究成果を発表し、海外研究者と研究内容について議論を行う</p>
	<p>齋木 悠 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 助教)</p>	<p>*廃棄プラスチックの助燃料利用に関する研究 *流れの可視化および画像処理に関する第7回太平洋国際会議に参加し研究成果の発表ならびに世界の研究者との意見交換を通じ情報収集を行う</p>
	<p>三浦永理 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 おもひ領域 傾斜機能材料研究所 特任准教授)</p>	<p>*生体用金属材料の疑似体液中での摩擦磨耗挙動とマイクロビームX線回折による材料内部の変形の調査 *2010TMS Annual Meeting & Exhibitionにて、研究成果の発表および情報収集を行う</p>
	<p>小林 正 (愛知工業大学 情報科学部 情報科学科 教授)</p>	<p>*ヒューマンエラーを防止するユーザーインターフェースに関する研究 *UPA International Conference 2010に参加しヒューマンエラーに関するユーザーインターフェース研究動向の調査を行う</p>
	<p>水野慎士 (愛知工業大学 情報科学部 情報科学科 講師)</p>	<p>*三次元コンピュータグラフィックス(CG)の対話的生成、およびノンフォトリアスティックレンダリング(NPR)に関する研究 *SIGGRAPH2010に参加しCG,メディアアート、バーチャルリアリティ等に関する最新の研究動向の調査をし情報収集および意見交換を行う</p>
	<p>小中英嗣 (名城大学 理工学部 情報工学科 准教授)</p>	<p>*鋼板処理プロセスのためのモデル予測制御に基づく速度制御手法 *チリ、ビーニャ・デル・マルで開催されるIFACMMM2009に参加し研究成果の発表を行う</p>
	<p>長郷文和 (名城大学 理工学部 数学科 助教)</p>	<p>*DNA結び目に関する研究視点からの結び目不変量の構造研究 *国際会議「The 5th Japan Mexico Topology Conference」に参加し研究成果の発表および会議参加者との研究交流を行う</p>
	<p>石川英里 (中部大学 工学部 応用化学科 准教授)</p>	<p>*機能性金属酸化物クラスター(ポリ酸)の合成と物性評価 *米国ハワイにて開催される国際会議PACIFICHEM2010に参加し研究成果の発表および他研究者たちとの交流、情報収集を行う</p>
	<p>小林礼人 (中部大学 工学部 理学教室 准教授)</p>	<p>*シンプレクティック差分法とその応用 *米国テキサス州ダラスで行われる米国物理学会に参加し研究成果を発表し、候補者らの研究について周知を図る</p>
	<p>石田好輝 (豊橋技術科学大学 工学部 知識情報工学系 教授)</p>	<p>*知能情報処理および情報通信技術のユビキタス社会への応用 *ベトナム国家大学ハノイ校を訪問し、研究テーマに関する講演を行う また同大学で行われる「知識とシステム工学国際会議」に参加する</p>
<p>神山斉己 (愛知県立大学 情報科学部 教授)</p>	<p>*神経系の情報処理機構に基づいた未来型情報システムに関する研究 *ドイツ、オルデンブルグで開催される欧州網膜神経回路会議に参加し研究成果を発表するとともに関連する研究者と様々な議論や意見交換、最新の研究成果の収集など研究調査を行う</p>	

部門	研究者	研究テーマ・等
医学	<small>アンドリュウスケ</small> 安藤亮介 (名古屋市立大学 医学部 腎・泌尿器科学 臨床研究医)	*メタボリックシンドロームと尿路結石の関連 *イタリア、コモで行われる第6回ヨーロッパ尿路結石症シンポジウムに参加し研究成果を発表するとともに現在行っている研究が世界的にどのような評価を受けるかを再確認し今後の研究計画に役立て、さらなる発展につなげる
	<small>フナベヒデト</small> 渡辺秀人 (愛知医科大学 分子医科学研究所 教授)	*プロテオグリカン、特に細胞外マトリックス型プロテオグリカンの代表的分子として知られるアグリカンとバーシカンの生体内機能の研究 *米国で開催される第14回プロテオグリカン・ゴードンリサーチ会議に参加し研究成果を発表するとともに関係研究者との意見交換および情報収集を行い、今後のさらなる発展へ向けた研究計画の立案をする
	<small>オオクママモト</small> 大熊真人 (藤田保健衛生大学 医学部 講師)	*哺乳類網膜におけるヒスタミン受容体の機能研究 *米国神経科学大会において研究発表を行う、また最新の研究情報、知見を収集する
法学・経済	<small>フウダマキ</small> 福田真希 (名古屋大学大学院 法学研究科)	*フランスにおける恩赦の法制史的研究 *パリ第二大学図書館より学位論文等の資料、国立古文書館において過去の手稿などの情報を収集する また、現地の研究者との意見交換を行う
	<small>ドイキヤスヒロ</small> 土井康裕 (名古屋大学大学院 経済学研究科 講師)	*経済統合による経済への効果についての分析 *ドイツ・フライブルグ大学を中心にヨーロッパの学会やEUの統合に関する研究会に参加し意見交換を行う
	<small>クニサキ シノブ</small> 國崎 稔 (愛知大学 経済学部 教授)	*日・欧の地方分権過程に関する規範的・実証的側面からの比較研究 *イタリア、カターニャ大学を中心に欧州における分権過程の実地調査と欧州の研究者との共同研究を行う
芸術	イム・ハン・ソプ (愛知県立芸術大学 美術学部 博士後期課程)	*住空間とファニチャー(60代に対応できる家具のデザイン) *家具デザインの先進国であるデンマークにおいて家具作りのシステム、プロセス、家具のあり方の調査を行い日本と韓国の習慣に合う家具デザインを展開する
計	21名	